



第10回宇部興産グループ チャリティーコンサート・ふれあいコンサート(2017年10月7日、8日)

Contents

1 トップメッセージ

2-3 トピックス

**自動車始動用12Vリチウムイオンバッテリー
共同開発契約を締結** ほか

4 連結業績ハイライト

裏表紙 会社情報・株式情報



“ビジネスレポート”をお届けするにあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

本年6月7日に当社グループ製品の品質検査に関する不適切行為についての報告書を公表いたしました。

この報告書は、不適切行為の判明後、当社と利害関係のない弁護士等から構成される調査委員会により徹底的な調査を実施し、原因究明と再発防止策の妥当性検証等を行ったものです。

株主の皆様やお客様をはじめ、関係各位に多大なるご迷惑とご心配をおかけしましたことを、深くお詫び申し上げます。

当社グループでは、これら一連の品質検査上の不適切行為を重く受け止め、再発防止策を着実に実行し、ガバナンスの向上と品質管理体制の強化を図ってまいります。

当社グループは2016年度から3ヵ年の中期経営計画「Change & Challenge2018」において、「持続的成長を可能にする経営基盤の強化」「資源・エネルギー・地球環境問題への対応と貢献」を基本方針とし、各部門の収益力向上を推進するとともに、各事業課題の解決に向けて取り組んでおります。

当期においては、全般的に原燃料価格が上昇し、特に建設資材部門では石炭市況高止まりの影響を大きく受けました。その一方で、堅調な需給を背景とした化成品の価格是正や機能品の拡販に加え、国内アンモニア工場の定期修理がなかったことなどによる化学部門の大幅な業績改善が牽引し、当社グループの連結業績は増収増益となりました。なお、連結経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益は過去最高益となりました。

今後も徹底したコストダウンや国内外グループ会社の連携深化により、顧客に提供する価値の増大とともに当社グループ各部門の収益力向上を推進してまいります。中でも事業環境の厳しさが続く建設資材部門での対策強化に引き続き注力するとともに、業績が回復しつつある化学部門における収益性をより強固なものとするに加え、今後の新たな拡大・成長策の策定と実行に取り組んでまいります。

なお、昨年10月に単元株式数を1,000株から100株に変更するとともに、10株を1株とする株式併合を行いました。期末配当につきましては、1株当たり75円(前期は今期に換算すると1株あたり60円)とさせていただきます。

当社グループは、公正な企業活動や社会的責任を果たすための活動を推進し、経営理念である「共存同栄」の精神の下、社会との共生を目指し、株主や資本市場をはじめ、顧客・取引先・従業員・地域社会等、すべてのステークホルダーからの信認を深めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

山本 謙

「Change & Challenge 2018」

- 2017年度 ●売上高は化成品の価格是正と原燃料価格の上昇を主要因として増収に
 ●営業利益は化学部門の価格是正と拡販を主要因として大幅な増益を達成
 ●経常利益、当期純利益は過去最高益に
- 2018年度 ●売上高は増収だが、化学部門の一時的な増益要因がなくなり、営業利益は減益の計画
 ●原計画比では、売上高はほぼ達成するも、石炭価格上昇の影響で営業利益は未達に

主要項目

項目	単位	2016年度 (実績)	2017年度 (実績)	2018年度 (予想)	2018年度 (計画)
売上高	億円	6,165	6,955	7,400	7,500
営業利益	億円	349	502	440	500
経常利益	億円	333	507	455	490
親会社株主に帰属する当期純利益	億円	241	316	305	290
経営指標					
売上高営業利益率(ROS)	%	5.7	7.2	5.9	6.5以上
自己資本当期純利益率(ROE)	%	8.7	10.5	9.4	9.0以上

2017年度 トピックス一覧

- 2017**
- 4月** 【建設】 伊佐セメント工場が排熱発電設備の設置を決定
 - 6月** 【化学】 N型有機半導体が「半導体・オブ・ザ・イヤー2017」グランプリ獲得
 - 7月** 【全社】 初の自己株式取得を実施
 - 8月** 【建設】 簡易株式交換による宇部興産海運(株)および萩森興産(株)の完全子会社化を実施
 - 8月** 【医薬】 新規そう痒症治療薬「SK-1405」の第Ⅱ相試験を開始
 - 10月** 【エネ環】 中国電力(株)との海外炭の共同輸送を実施
 - 11月** 【医薬】 緑内障・高眼圧症治療点眼剤DE-117の製造販売承認を申請…………… **1**
 - 11月** 【化学】 宇部ケミカル工場でカプロラクタム中間原料の製法転換が完了
- 2018**
- 1月** 【化学】 中国における電解液事業合弁会社「常熟宇菱電池材料有限公司」が発足
 - 1月** 【機械】 Ube Machinery Inc. (米国)が成形機組立工場の拡張着手
 - 1月** 【建設】 「日本珪藻土日用雑貨製造協会」を設立
 - 2月** 【全社】 「健康経営優良法人ホワイト500」に2年連続で認定
 - 2月** 【化学】 スペインでナイロン工場の増設が完了、製造開始
 - 3月** 【機械】 U&Mプラスチックソリューションズ(株)が中型電動射出成形機「HH (Dual H) シリーズ」を上市…………… **2**
 - 3月** 【化学】 マツダ(株)・エリーパワー(株)と、自動車始動用12Vリチウムイオンバッテリー共同開発契約を締結…………… **3**
 - 3月** 【建設】 宇部マテリアルズ(株)がタイに工場建設を決定
 - 3月** 【医薬】 (株)キュラディムファーマとLPA1選択的アンタゴニストに関するライセンス契約を締結…………… **4**

1 緑内障・高眼圧症治療点眼剤DE-117の製造販売承認を申請

当社と参天製薬(株)は、緑内障・高眼圧症治療点眼剤DE-117について、2017年11月22日付で国内における製造販売承認の申請を行いました。DE-117は、参天製薬(株)が当社から導入し、参天製薬(株)と当社が日本で共同開発した点眼剤です。今後、本点眼剤の製造販売承認を取得し、より多くの治療選択肢を医療現場に提供することで、患者さんのクオリティ・オブ・ライフ(生活の質)の向上に寄与できることを期待しています。



2 U&Mプラスチックソリューションズ(株)が中型電動射出成形機「HH (Dual H) シリーズ」を上市

当社グループのU&Mプラスチックソリューションズ(株)は、中型電動射出成形機「HH (Dual H) シリーズ」を上市しました。本機種は、宇部興産機械(株)とU-MHIプラテック(株)(旧三菱重工プラスチックテクノロジー(株))の事業統合から誕生した、技術融合機第1弾です。全世界に展開する販売・サービス網を活用し、広くグローバルでの販売を計画しています。



中型電動射出成形機「HH (Dual H) シリーズ」

3 マツダ(株)・エリーパワー(株)と、自動車始動用12Vリチウムイオンバッテリー共同開発契約を締結

当社とマツダ(株)、エリーパワー(株)の三社は、自動車に搭載する12Vリチウムイオンバッテリーに関する共同開発契約を締結しました。従来の自動車始動用の鉛バッテリーの代替として、2021年までの実用化を目指します。本共同開発は、欧州を中心とした環境規制における鉛使用の禁止や、燃費改善に向けた軽量化等の課題に対し、安心・安全な車社会の実現に資することを目的としています。



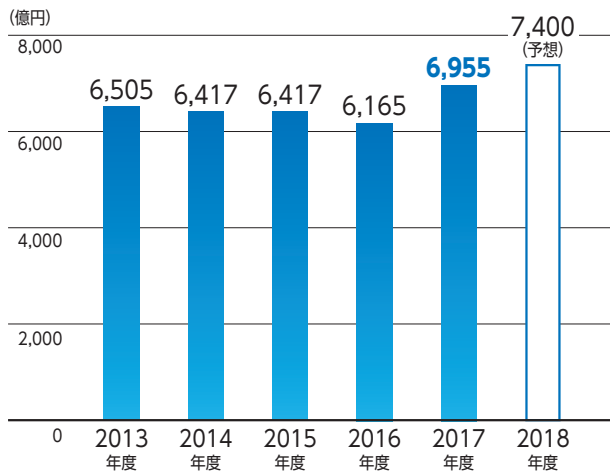
4 (株)キュラディムファーマとLPA1選択的アンタゴニストに関するライセンス契約を締結

当社と(株)キュラディムファーマは、当社の保有するLPA1選択的アンタゴニスト(以下、「本化合物」)に関するライセンス契約を締結しました。本化合物は、特発性肺線維症や非アルコール性脂肪肝炎などの線維症の治療薬となることが期待されます。本契約により、(株)キュラディムファーマは全世界を対象として本化合物および本化合物を用いた製剤を開発、製造および販売するための権利を獲得します。なお原薬に関する権利は引き続き当社が保持します。

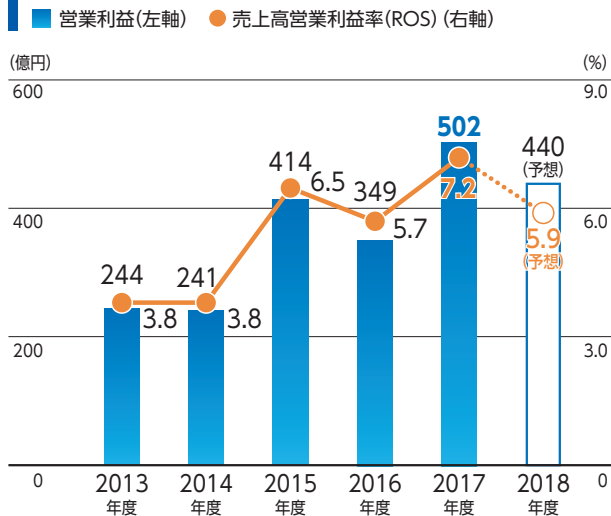


連結業績ハイライト

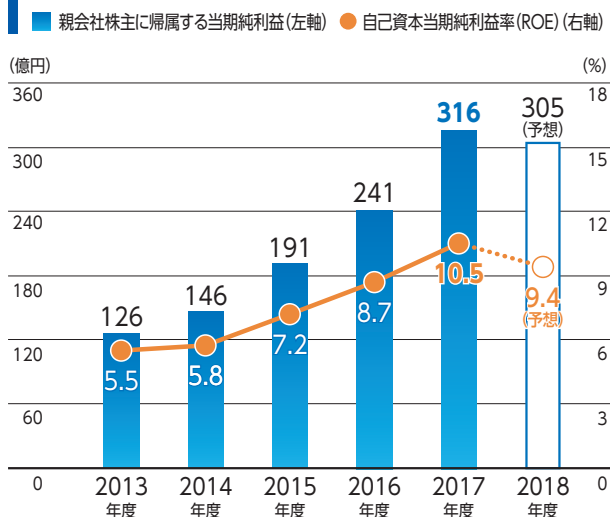
売上高



営業利益と売上高営業利益率 (ROS)

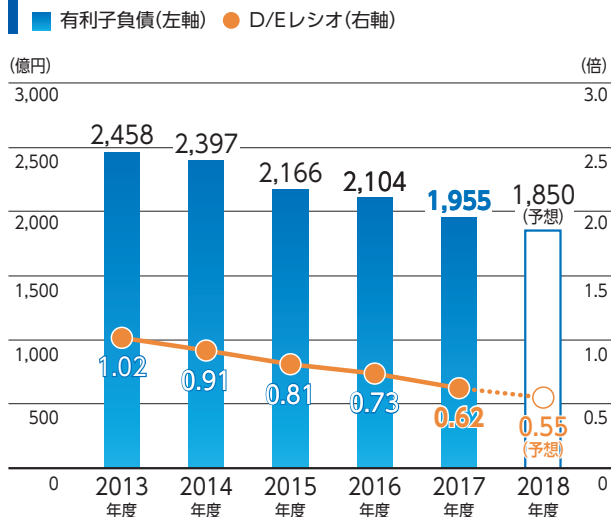


親会社株主に帰属する当期純利益と自己資本当期純利益率(ROE)*



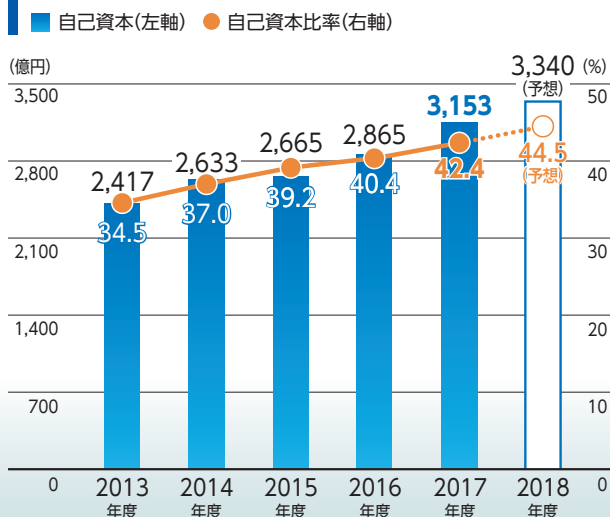
*自己資本当期純利益率(ROE) = 親会社株主に帰属する当期純利益 / 自己資本

有利子負債とD/Eレシオ*



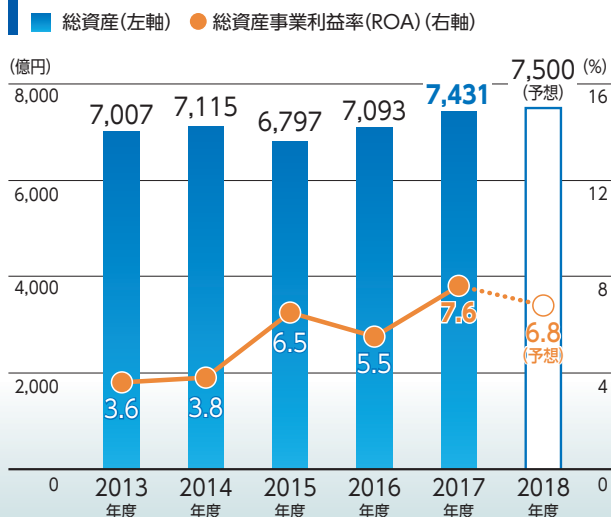
*D/Eレシオ = 有利子負債 / 自己資本

自己資本と自己資本比率*



*自己資本比率 = 自己資本 (=純資産-新株予約権-非支配株主持分) / 総資産

総資産と総資産事業利益率 (ROA)*



*総資産事業利益率(ROA) = 事業利益 (=営業利益+受取利息+受取配当金+持分法投資損益) / 総資産

会社情報・株式情報

会社概要 (2018年3月31日現在)

設立	1942 (昭和17)年3月
資本金	58,434百万円
従業員数	3,555人 (連結 10,799人)
連結対象会社	94社 (連結子会社70社、持分法適用会社24社)

役員 (2018年6月29日現在)

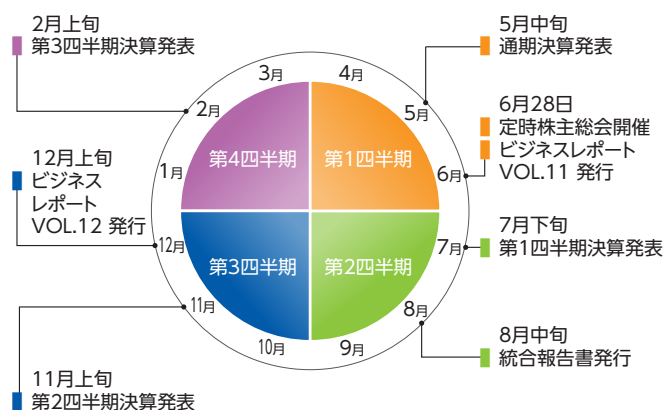
取締役

取締役会長	竹下 道夫
代表取締役社長	山本 謙
代表取締役	松波 正
取締役	泉原 雅人
取締役(社外)	草間 高志
取締役(社外)	照井 恵光
取締役(社外)	庄田 隆
取締役(社外)	蔭山 真人

監査役

常勤監査役	久保田 隆昌
常勤監査役	山元 篤
監査役(社外)	落合 誠一
監査役(社外)	須田 美矢子

IRカレンダー (2018年6月～2019年5月)



株主メモ

事業年度	毎年4月1日より翌年3月31日まで
定時株主総会開催時期	毎年6月下旬開催
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
公告の方法	電子公告 (http://www.ube.co.jp)
株主名簿管理人 特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
(同連絡先)	郵送先 〒137-8081 東京都府中市日鋼町1-1 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-232-711 (通話料無料)

株式に関するお手続きについて

お手続きの内容	証券会社の口座を開設されている株主様 のお問い合わせ先	証券会社の口座を開設されていない 株主様のお問い合わせ先
単元未満株式の買取・買増	お取引先の証券会社	三菱UFJ信託銀行 株式会社 証券代行部
住所・氏名などの変更		
株式の口座振替請求		
配当金受取り方法の指定		
未払配当金のお支払 その他株式事務について	三菱UFJ信託銀行 株式会社 証券代行部	

株式に関する「マイナンバー」のご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きが必要となります。
このため、株主様からお取引の証券会社等へマイナンバーのお届けをお願いいたします。

マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先

- 証券口座にて株式を管理されている株主様
お取引の証券会社
- 証券会社とのお取引がない株主様
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
フリーダイヤル 0120-232-711

宇部興産株式会社

東京本社 〒105-8449 東京都港区芝浦1-2-1 シーバンスN館
宇部本社 〒755-8633 山口県宇部市大字小串1978-96



※本ビジネスレポートに記載されている事項には、将来についての計画や予想に関する記述が含まれています。実際の業績は当社の予想と大きく異なることがありますをご承知おさください。

環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。
見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。